

令和4年度 第1回 学校運営協議会 議事録

○7月22日（金）15：30～17：00 場所：会議室

出席者 協議委員：山下 寺田 瀧見 廣野 中尾 倉持

事務局：浅田 高田 溝端 藤岡峻 嶋田

次 第

- 1 校長挨拶
- 2 協議会委員・事務局紹介と資料確認
- 3 会長選出 → 山下委員を会長に選出 寺田委員を副委員長に選出した
- 4 協議

（1）令和4年度学校経営計画及び令和3年度学校評価報告書について

・本年度は昨年までの大きな計画・目標を踏襲するとともに、昨年度に引き続き定期考査や模擬試験後の振り返りに重点を置いている。それらによって、まだまだ根強い本校に多い学習タイプである受動的暗記型学習から能動的思考型学習に変容させていきたい。また、1年生の10月頃の学習習慣が3年生の学習習慣を決定づけることから、1年生の学習意欲の継続に力を入れたい。特に今年度からの取組みとして、大阪大学を1年生全員に見学させることを企画している。高い目標を定めさせることで意欲の低下を防ぎたい。

→ 大阪大学だけではなく、他にも良い大学はたくさんある。自分の将来像をイメージさせる取組みは、必要である。コロナ禍で外部との交流が制限されてきたが、それでもできるような取組みがあればなおよい。などのご意見をいただきました。（承認）

（2）GLHSの取組について

・コンテスト等について、本校の取組みとして実施しているが、報告にはあがってこないことが多い。昨年度からGLHS校として掲げている目標や報告事項をまずは教員間で認識できるよう周知してきた。今年度はさらに、さまざまなイベントに参加していきたい。また、英語力については、英検2級取得による高校選抜試験の8割保証によって、中学では取得以降英語学習をしていない生徒が散見される。これは、高校入学後にも大きく影響することから、中学でもご指導いただければ幸いである。

→ 英語学習については、実際英検2級取得の指導はあり、その後はどうしても数学の学習に力を入れてしまう。理科、社会に関しても取りこぼしできないことから継続した英語学習は難しい面もある。などのご意見をいただきました。

（3）SSHの取組について

・コロナ禍でも実施可能な企画が昨年度よりは増えてきた。海外のサイエンスツアーはやむなく中止したが、オンライン等、海外と交流する企画は考えていきたい。また、校内の協力体制として、SSH 協力委員を創設することで、より一層全体化を行った。コンテストの参加に関しては、ポイント制を導入するなど、参加生徒を増やしていきたい。

(4) 来年度の教科書選定について

- ・教科書選定資料をお渡しし、ご意見あれば事務局までご連絡ください。

(5) 今後の生野高校のあり方について

- 学校説明会でも1年生の学習習慣の変化について説明していたのが印象的で、そういった分析を生かした取り組みを今後も期待したい。
- コロナ禍によって、3年生が行事を知らないことが起こっている。モデルのない行事を率先するのは3年生にとって負担となっている。生野高校はどのように対応しているのか。
- ・生野高校でもまさしく同じ状況が起こっているが体育祭は無事終わることができた。
 - 1人1台端末の活用について、現在どのような状況にあるか。また、活用時にはタイピングの速度等により一斉活動に支障をきたしていないか。
- ・タイピングの速度の影響は全くない。操作においては1年生でも全く問題なく行っている。普段、自宅で保管させていることを基本にして、アンケート等に活用している。一部の授業では、毎回振り返りに活用したり、授業中にも持参させたりして活用している。
 - 全体的な生徒像として打たれ弱い生徒とそうでない生徒の二極化が進んでいる印象である。打たれ弱い生徒は内に悩みを秘める傾向があることから、学校ではどのような対応をしているか。
- ・身体的、精神的不調な生徒には一定の配慮をしている。

5 事務連絡

次回予定 → 後日日程調整 15:30 ~ 17:00

(資料)

- 1 大阪府立生野高等学校学校運営協議会実施要項と委員名簿
- 2 令和4年度学校経営計画および令和3年度学校評価報告書
- 3 令和3年度GLHSの評価審議会資料
- 4 令和4年度SSH実施計画書
- 5 令和5年度使用教科用図書選定報告書